

# 令和元年度 計算書類に対する注記

社会福祉法人 新篠津福祉会

## 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

## 2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
  - \*満期保有目的の債券等 — 償却原価法（定額法）
  - \*上記以外の有価証券で時価のあるもの — 決算日の市場価格に基づく時価法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
  - \*最終仕入原価法に基づく原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
  - \*建物並びに器具及び備品 — 定額法
  - \*リース資産
    - ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
    - ・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
  - \*退職給付引当金 — 北海道民間社会福祉事業職員共済会の実施する退職金共済制度に加入している職員に係る掛金納付額のうち、法人の負担額に相当する金額の累計額を計上している。
  - \*賞与引当金 — 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。
  - \*徴収不能引当金 — 債券の徴収不能に備えるため、一括評価債権については過去の徴収不能額の発生割合により、個別評価債権については個別に徴収可能性を勘案して徴収不能額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
  - \*消費税等の会計処理は、税込処理によっている。

## 3. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 4. 法人で採用する退職給付制度

- ① 北海道民間社会福祉事業職員共済会 退職年金事業に加入している。

- ② 独立行政法人 福祉医療機構 社会福祉施設事業職員共済会退職共済制度に加入している。

## 5. 法人が作成する計算書類と拠点区分・サービス区分

\*当法人が作成する計算書類は、以下のとおりになっています。

- ① 法人全体「第1号の1様式・第2号の1様式・第3号の1様式」  
② 法人全体（事業区分別）「第1号の2様式・第2号の2様式・第3号の2様式」  
③事業区分（拠点区分別）「第1号の3様式・第2号の3様式・第3号の3様式」  
④ 各拠点区分におけるサービス区分の内容

### (1) 社会福祉事業区分

#### ①新篠津福祉会 法人本部拠点区分

ア 新篠津福祉会法人本部サービス区分

#### ②新篠津福祉園拠点区分

ア 特別養護老人ホーム 新篠津福祉園サービス区分

イ 新篠津デイサービスセンター サービス区分

ウ 新篠津福祉園ホームヘルプサービス サービス区分

#### ③新しのつ幸生園拠点区分

ア 障がい者支援施設 新しのつ幸生園サービス区分

イ 障がい福祉サービス事業所 はびえこ新しのつサービス区分

ウ 共同生活援助事業所 はびらいふ新しのつサービス区分

エ 相談支援事業所 おあしすサービス区分

#### ④ふれあいの苑拠点区分

ア 障がい者支援施設 ふれあいの苑サービス区分

イ 障がい福祉サービス事業所 みのりの苑サービス区分

ウ 障がい福祉サービス事業者 さぼーとセンターこねくとサービス区分

エ 共同生活援助事業所 支援センターこすもすサービス区分

オ 相談支援事業所 まるくサービス区分

カ えべつ障がい者しごと相談室すてらサービス区分

### (2) 公益事業区分

#### ①新篠津福祉園公益事業拠点区分

ア 特別養護老人ホーム 新篠津福祉園附属診療所サービス区分

イ 新篠津指定居宅介護支援事業サービス区分

## 6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
土地・福祉園	127,804,820	0	0	127,804,820
土地・幸生園	69,212,013	0	0	69,212,013
土地・ふれあいの苑	59,798,433	0	0	59,798,433
建物・法人本部	34,621,207	0	3,081,891	31,539,316
建物・福祉園	416,119,340	12,182,500	20,578,201	407,723,639
建物・幸生園	178,714,084	5,976,600	17,940,815	166,749,869
建物・ふれあいの苑	487,743,851	6,624,400	29,527,664	464,840,587
合 計	1,374,013,748	24,783,500	71,128,571	1,327,668,677

## 7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金取崩し

該当なし

## 8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	福祉園	127,804,820 円
建物（基本財産）	福祉園	407,723,639 円
建物（基本財産）	ふれあいの苑	139,638,091 円
計		683,562,251 円

担保している債務の種類及び金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	福祉園	106,470,000 円
設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	ふれあいの苑	56,256,000 円
計		162,726,000 円

## 9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	3,057,477,839	1,986,624,428	1,070,853,411
建物	170,982,903	106,954,236	64,028,667
構築物	10,620,750	6,378,648	4,242,102
機械及び装置	30,111,300	25,690,872	4,420,428
車輛運搬具	67,739,766	55,146,723	12,574,293
器具及び備品	207,095,435	164,937,885	42,157,550
ソフトウェア	11,626,524	4,897,736	6,728,788
有形リース資産	6,264,830	313,242	5,951,588
合 計	3,561,919,347	2,350,943,770	1,210,956,827

## 10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金当期末残高	債権の当期末残高
国保連・利用者様他	242,997,536		242,997,536
合計	242,997,536		242,997,536

## 11. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
北海道信用金庫出資金	30,000	30,000	
新篠津村農協出資金	40,000	40,000	
合計	70,000	70,000	

## 12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

該当なし

(単位：円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	時業の内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内 容	関係内 容	取引の 内容	取引金 額	科目	期末残 高
						役員 の 勤務等	事業上 の 関係				

取引条件及び取引条件の決定方針等

該当なし

## 13. 重要な偶発債務

該当なし

## 14. 重要な後発事象

該当なし

## 15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし